



9月18日、阪神播磨建設廃棄物中間処理事業協同組合および一般社団法人コンクリート資源循環促進協会の主催で、再生骨材Mの利用普及に関する講演会を開催いたしました。

講演会の前には(株)近畿道路資材神戸西事業所にて、実際に再生骨材工場を見ていただきました。その後の講演会には97名の方にご参加いただきました。日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

講演会では、兵庫県や大阪府など全国の都市部における建設廃棄物の中間処理業界が抱える大きな問題について、関連分野において第一線でご活躍されている4名の専門家の皆さまをお招きし、ご講演いただきました。

国立研究開発法人 土木研究所
先端材料資源研究センターの
片平 博様より、再生骨材の品質
と利用の可能性についてお話
いただきました。



経済産業省 イノベーション・
環境局 基準認証政策課の有馬
伸明様より、標準化の戦略的活用
についてお話しいただきました。



再生骨材コンクリート普及連絡協議会の柴谷 啓一様より、再生骨材コンクリートの利用促進とカーボンニュートラルに向けてをお話いただきました。

資源循環コンソーシアム 代表の北辻 政文様より、カーボンニュートラルの取り組みにおけるPCa製品の可能性についてお話しいただきました。



講演会閉会后、会場を移し情報交換の場を設けさせていただきました。ご講演いただきました皆様にもご参加いただき、大変有意義な時間となりました。



この講演を通じて、再生骨材Mの持つ可能性とその利用の重要性について、皆様と共有することができました。再生骨材Mは、環境負荷の低減や資源の有効活用に大きく貢献する素材であり、今後業界においてますます重要な役割を果たすことと思われま

す。私たち一人ひとりがこの取り組みに関心を持ち、積極的に関与することで、この業界全体の活性化に繋がり、尚且つ持続可能な社会の実現に一步近づくことができます。

今回の講演が、その一助となれば幸いです。